TOP > ドラマのロケ地 > 福士蒼汰主演のドラマ「お迎えデス。」のキャスト

日本テレビの2016年4月新ドラマ、主演・福士蒼汰、ヒロイン・土屋太鳳「お迎えデス。」のキャスト、あらすじ、ロケ地を徹底解説いたします！

全22話の田中メカによる人気漫画「お迎えデス。」のドラマが決定しました。

主人公の堤円役を演じるのは今人気の俳優、福士蒼汰。

ヒロインの阿熊幸を演じるのが、土屋太鳳となりました。

あの世の会社GSG（極楽送迎）で、2人がはじめた不思議なアルバイト。

そこにはどんな化学変化が起こるのでしょうか？

気になる「お迎えデス。」の概要を詳しく見ていきましょう！

《あらすじ》「お迎えデス。」ってどんなドラマ？

福士蒼汰演じる理系オタクの男子大学生の堤円には、霊感があって霊を見ることができ、かつ、体に憑依させることができるという特異体質があった。

そんな能力を見込まれて、ひょんなことから堤円がはじめることになったとあるアルバイト。

それはなんと、なかなか成仏しない幽霊をあの世に送り届けるアルバイトでした。

あの世の会社CGS(極楽送迎)で働きはじめた堤円が出会ったのが、土屋太鳳演じる体育会系な女子高生・阿熊幸だった。

対照的な性格の2人がこの変なアルバイトを通じて、”生きる”とはなにか、について考えていく。

ちょっとコミカルな、でも考えさせられる、そんな物語です。

ドラマ「お迎えデス。」のキャストをまとめてご紹介！

堤円 – 福士蒼汰

本作の主人公の男子大学生。

感情表現が苦手な理系のオタク男子。

霊感があり、しかも憑依させることができる体質があるため、CGSにてなかなか成仏しない霊をあの世に送り届ける仕事をする羽目になってしまった。

阿熊幸 – 土屋太鳳

本作のヒロインで、堤円と同じCGSのバイトスタッフ。

完全に感情むき出しで、体育会系な堤円とは真反対のタイプ。

乱暴な態度が目立つが、実は根はすごく優しい女子高生。

緒川千里 – 門脇麦

幽霊。

ゆずこ – 濱田ここね

死神であり、ナベシマの相棒。

堤由美子 – 石野真子

堤円の母親。

堤郁男 – 大杉漣

堤円の父親。

ドラマ「お迎えデス。」で堤円と阿熊幸が通う大学のロケ地

あの世に霊を送り込むという変なアルバイトをしている福士蒼汰演じる堤円と土屋太鳳演じる阿熊幸。

そんな2人はまだ大学生という設定で、同じ大学に通っているとされています。

堤円と阿熊幸が通う大学のロケ地として利用されているのが、神奈川県厚木市にある神奈川工科大学です。

大学生ということで、キャンパスでのシーンも多く撮影されていると思われます。

ぜひドラマを見る際には、キャンパスのシーンなどに注目してみてくださいね！

横浜の中心地である桜木町近辺がロケ地として利用された？

後ろにある船の帆の形の建物はヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、そして隣に横浜コスモワールドの大観覧車！

横浜で撮影されていたんですね～。

横浜の中心地である桜木町近辺が撮影場所として利用されたのではないかという目撃情報が出ています。

桜木町ではクレーンなどを使用したかなり大規模な撮影が行われた模様です。

どんなシーンで利用されているのか、ドラマを見る際には注目してみてみましょう！

ドラマ「お迎えデス。」のロケ地は神奈川県横浜のセンター北駅？

気になるロケ地情報ですが、撮影現場を見たという声が上がっている場所があります。

それは利用したことがある方も多いであろう、神奈川県横浜にあるセンター北駅です。

こちらの駅を利用していると、本当によくドラマや映画などの撮影に出くわします。

あるシーンの一部をこちらで撮影していたのではないでしょうか？

目撃情報から察するに、神奈川県や東京都などがロケ地の中心となりそうですね。

「お迎えデス。」を見る際には、センター北駅の登場に注目です！

センター北駅からすぐのショッピングモール「モザイクモール港北」での屋上でロケが行われていました！

ロケ地情報をもうひとつ。

東京都昭島市の

玉川緑地くじら公園と

玉川大橋近辺もお迎えデス。のロケ地のようです。

品川に最近できた複合商業施設「品川シーズンテラス」

JR川口駅が「お迎えデス。」のロケ地として撮影が行われた？

JR川口駅でも福士蒼太などが撮影を行っている場面が目撃されています。

はたしてどんなシーンとして利用されるのでしょうか？

川口駅前のデッキなどはよく映画やドラマなどの撮影が行われているので、見たことがある方が多いかもしれません。

ぜひ注目してみてみてくださいね。